

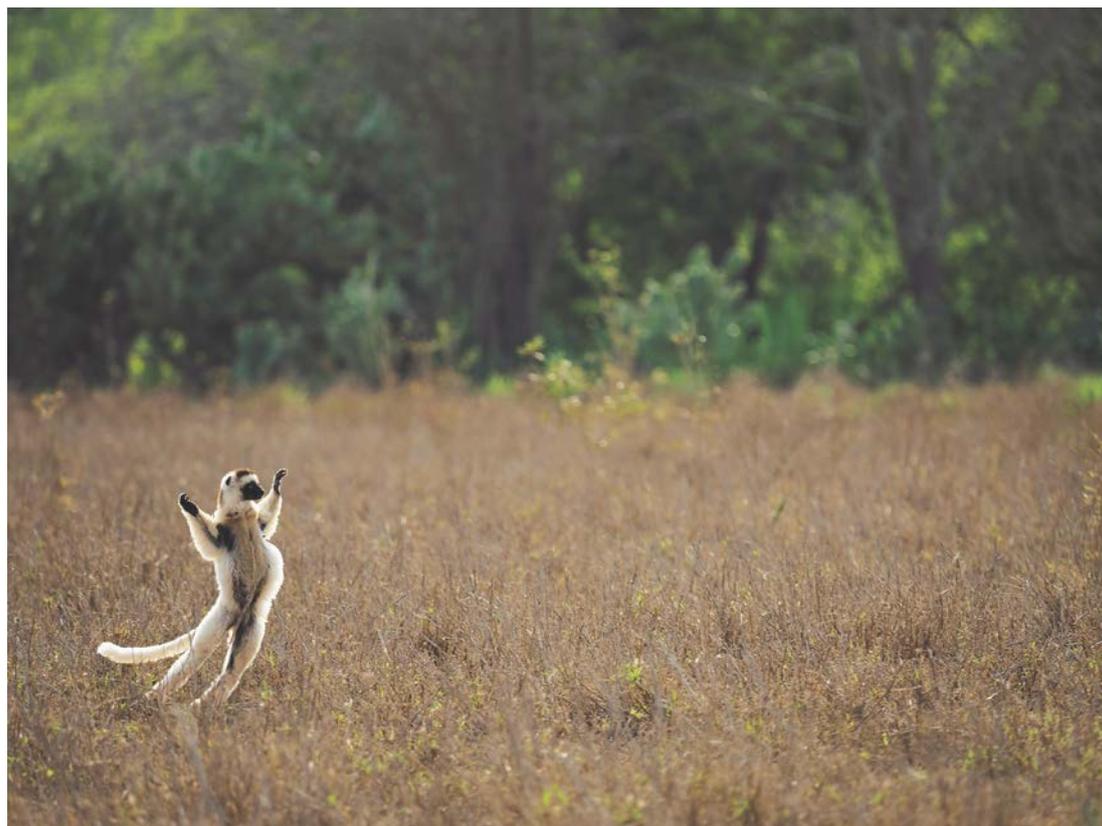
2015年10月1日

2016年オリンパス／WWFカレンダー 「MADAGASCAR／原猿の棲む島-マダガスカル」

オリンパス株式会社(社長: 笹 宏行)は、動物写真家の岩合光昭氏がアフリカ・マダガスカルで撮り下ろした写真を収めた2016年オリンパス／WWFカレンダー「MADAGASCAR／原猿の棲む島-マダガスカル」を製作しました。

バオバブの巨木やキツネザルなどの原猿が多いことで知られるマダガスカル。世界で4番目に大きなこの島は、8,000万～1億年前に、アフリカ大陸とインド亜大陸に挟まれていた部分が分離して以来、他の大陸と地続きになることのないまま現在に至ったといわれ、独自の進化と生態系を保ち続けています。

本カレンダーは申年にふさわしく、島に生きるいろいろな種類のキツネザルたちの写真で構成されています。世界的に著名な動物写真家の岩合光昭氏が、オリンパスのミラーレス一眼カメラ「OM-D E-M1」で、二度にわたりマダガスカル取材して撮影しました。



©Mitsuaki Iwago

補足資料

●WWF ジャパンの活動支援

オリンパス／WWF カレンダーは1986年から毎年WWF ジャパン(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)に寄贈されており、2016年版で31周年を迎えます。10月下旬からWWFの通販パンダショップ(<http://shop.wwf.or.jp/>)で1部1,400円(税別)で販売され、その利益はすべてWWFの地球環境保全活動に役立てられます。

[WWF:World Wide Fund for Nature 世界自然保護基金]

世界100カ国以上で活動する地球環境保全団体です。絶滅のおそれのある野生生物の保護を目的として1961年にスイスで設立されました。現在は、森や海などの生物多様性を保全すること、木材や魚介類など自然資源の利用を持続可能なものにする、地球温暖化を防ぐことなどに力を注ぎ、人と自然が共存できる社会の実現を目指しています。

●岩合光昭氏のメッセージムービーを閲覧可能

本カレンダーに印刷された2次元バーコードから、スマートフォンなどで、岩合光昭氏のカレンダーに関するメッセージなどの映像をご覧いただけます。

●地球環境保全に配慮

PVC(ポリ塩化ビニール)やらせん金属を使用しない設計で、すべてのページにFSC(森林管理協議会)の認証紙^{※1}を使用するなど、地球環境保全に配慮して製作されています。また、月ごとに切り捨てる必要のないブックタイプのカレンダーのため、使用後には写真集としてもご利用いただけます。

※1 国際的な森林認証制度の一つであるFSC<Forest Stewardship Council(森林管理協議会)の略>の基準に基づいて生産され、認証を取得した用紙です。適切に管理された森林からの資源を利用しているため、地球環境にやさしくエコロジーです。

●カラーユニバーサルデザイン(CUD)認証を取得



色覚の個人差を問わずに多くの方がご覧になりやすいよう配慮し製作した本カレンダーは、カラーユニバーサルデザイン(CUD)認証を取得しています。この認証はCUDO(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構)により、カラーユニバーサルデザインが実現できたと確認された場合に発行される第三者認証です。

●岩合 光昭(いわごう みつあき)氏略歴

1950年東京生まれ。19歳の時に訪れたガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始める。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに撮影を続け、アフリカ・セレンゲティ国立公園に1年半に渡り滞在して撮影をした写真集「おきて」は、世界中でベストセラーとなる。また、独特の色やコントラストを持ち、想像力をかきたてる写真は、ナショナルジオグラフィック誌の表紙を二度飾るなど、全世界で高く評価されている。近年はカナダでホッキョクグマ、中国でジャイアントパンダやトキ、知床でオオワシやヒグマなど、オリンパスのデジタル一眼カメラを駆使して、野生動物の写真を次々と発表している。最近ではライフワークともいえるネコの撮影にも力を入れており、NHK BSで「岩合光昭の世界ネコ歩き」が好評放映中のほか、同名写真展が2015年4月を皮切りに日本各地に巡回中。最新作はウェブサイト「デジタル岩合(www.digitaliwago.com)」で公開されている。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。